

東京大学文学部スラヴ文学・現代文芸論研究室主催 / 駐日ブルガリア大使館協力

映画を通じてブルガリアの歴史と文化を学ぶ 映画上映と特別講義

イントロダクション ペタル・ニコラエフ氏 (駐日ブルガリア共和国大使館文化担当官)

映画『桃泥棒』(1964年、ブルガリア映画)全編上映 80分

<英語字幕(日本語字幕はついていませんので予めご諒承ください)>

解説 アルベナ・トドロワ氏(ソフィア大学非常勤講師、国際交流基金日本研究フェロー、東京大学文学部外国人研究員)

「映画『桃泥棒』とその原作者スタネフについて」

日時 2011年7月1日(金) 午後3時20分~午後6時 (開場午後3時)

場所 東京大学(本郷キャンパス)

法文2号館2階1番大教室 〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

*事前登録・予約は不要です。入場無料。満席の場合は立ち見をお願いする場合がありますので、予めご諒承ください。



『桃泥棒』Крадецът на праскови はブルガリアの作家エミリヤン・スタネフ Емилиян Станев (1907-1979) の同名の原作をもとに、ヴァロ・ラデフ監督が1964年に映画化したものです。1964年ヴェネツィア国際映画祭に参加し、ブルガリア・ヴァルナ国際映画祭で特別賞、男優賞、女優賞を受賞しています。第一次世界大戦末期、セルビア人の戦争捕虜とブルガリア女性の愛を描いたこの傑作(日本未公開)を英語字幕で上映するとともに、ブルガリア大使館の文化担当官のペタル・ニコラエフ氏と、ソフィア大学非常勤講師・東京大学文学部外国人研究員のアルベナ・トドロワ氏に解説をしていただき、映画を通じてブルガリアの歴史と文化を学ぼうという趣旨の特別企画です。

このイベントは東京大学大学院人文社会系研究科スラヴ語スラヴ文学大学院演習「スラヴ文学研究へのアプローチ」(沼野充義)および文学部現代文芸論研究室特別授業「ブルガリアの言語と文化」(アルベナ・トドロワ講師)の一環として共同で行なわれるものですが、専門的関心をお持ちの皆様のご来聴を歓迎します。

問い合わせ先

東京大学人文社会系研究科・文学部スラヴ語スラヴ文学研究室 / 現代文芸論研究室

電話 03(5841)3847 または 03(5841)7955

交通 地下鉄丸ノ内線・大江戸線「本郷3丁目」、南北線「東大前」、千代田線「根津」など下車、いずれも徒歩10分程度

東大構内案内図 http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_01_02_j.html

東大本郷へのアクセス http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/map01_02_j.html

